

lenovo

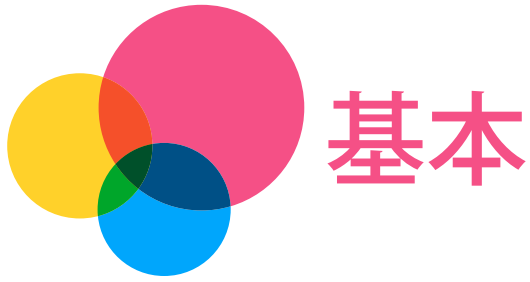
Lenovo TAB2

ユーザーガイド

目次

基本	1
ホーム画面	1
画面のボタン	3
通知	3
強制再起動	3
カメラ	4
写真とビデオの撮影	4
スクリーンショットの取得	5
写真とビデオの表示	5
Wi-Fi（無線 LAN）接続	6
Wi-Fi ネットワークの設定	6
VPN の設定	6
テザリングの設定	7
インターネット	8
ウェブページの閲覧	8
ウェブページや画像の保存	9
ユーザー補助の設定	9
メール	10
初回起動時の設定	10
メール／SMS を送信する	10
地図	11
場所の検索	11
現在地	12
経路の検索	12
連絡先	13
連絡先の管理	13
パソコンとの接続	14
本機とパソコンの接続	14
ファイルの転送	15
APK のインストール	15

付録	16
お問い合わせ先一覧	16
電子放射に関する注意事項	17
環境、リサイクル、破棄に関する情報	20
ENERGY STAR モデルについて	21
輸出種別に関する注意事項	22
保証とアフターサービス	22
海外でのご利用について	23
トラブルシューティング	23



基本

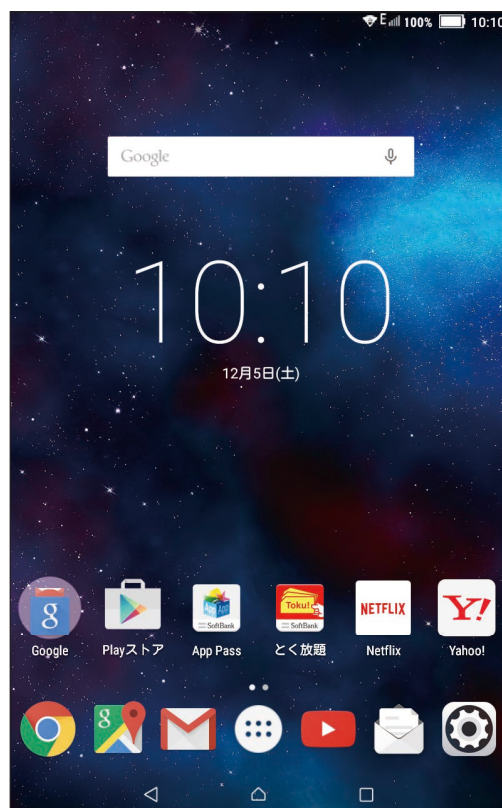
注：本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、以下に記載されている情報を必ずお読みください。

- 安全上の注意と保証およびクイックスタートガイド

注：本書で記載している画面表示は、実際の表示と異なる場合があります。

ホーム画面

本機を使用する場合、最初にホーム画面が表示されます。ホーム画面は、使いやすいように数種類の便利なアプリとウィジェットでセットアップされています。



ホーム画面は、いつでもカスタマイズできます。

- ホーム画面

最初に表示される「基本ホーム画面」には、アプリの他に Google 検索バーとデジタル時計ウィジェットが表示されます。

基本ホーム画面をスライドすると表示される「拡張ホーム画面」には、アプリが表示されます。

- プレビュー画面

ホーム画面でアプリおよびウィジェット以外の場所をロングタッチすると、プレビュー画面が表示されます。

プレビューをタップすると、タップしたホーム画面に移動します。

- ホーム画面へのウィジェットの追加

1. プレビュー画面で、画面下部に表示される「ウィジェット」をタップします。
2. ウィジェット・リストを左右にスライドさせ、配置するウィジェットをロングタッチします。
3. ホーム画面が表示されたら、ウィジェットを配置する場所までドラッグして指を離します。

- 壁紙の変更

1. プレビュー画面で、画面下部に表示される「壁紙」をタップします。
2. 壁紙を選択し、「壁紙を設定」をタップすると、ホーム画面の壁紙を変更します。

- 別のホーム画面へのアプリの移動

1. 移動するアプリまたはウィジェットをロングタッチし、ホーム画面の左端または右端にドラッグします。
2. 別のホーム画面が表示されたら配置する場所でアプリまたはウィジェットを離します。

- ホーム画面の追加

アプリまたはウィジェットを新しいホーム画面まで移動すると、新しいホーム画面が表示されます。指を離してアプリまたはウィジェットを配置できます。

- アプリまたはウィジェットの削除

1. ホーム画面から削除したいアプリまたはウィジェットをロングタッチします。
2. アプリまたはウィジェットを画面の上部に表示される「削除」にドラッグし、赤色に表示されている状態で指を離します。

- ホーム画面の削除

削除したいホーム画面で、すべてのアプリおよびウィジェットを削除します。

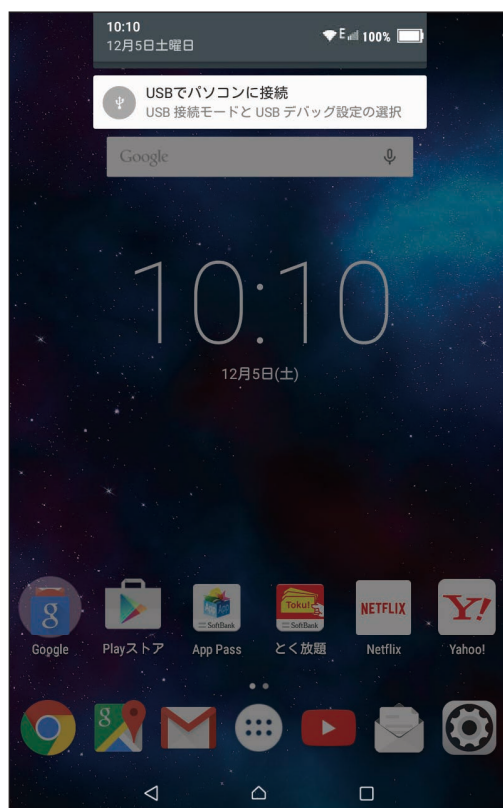
画面のボタン

ホーム画面の下にはボタンが3つあります。

- ・「戻る」ボタン: ◀ をタップすると、前の画面に戻ります。
- ・「ホーム」ボタン: ◻ をタップすると、基本ホーム画面に戻ります。
- ・「最近使用したアプリ」ボタン: ◻ をタップすると、最近使用したアプリが表示されます。
- ・ アプリを開くには、目的のアプリをタップします。
- ・ 実行中のアプリを停止するには、アプリを左または右へフリックします。

通知

画面の上端から指をスライドさせると、システム通知とメッセージが表示されます。

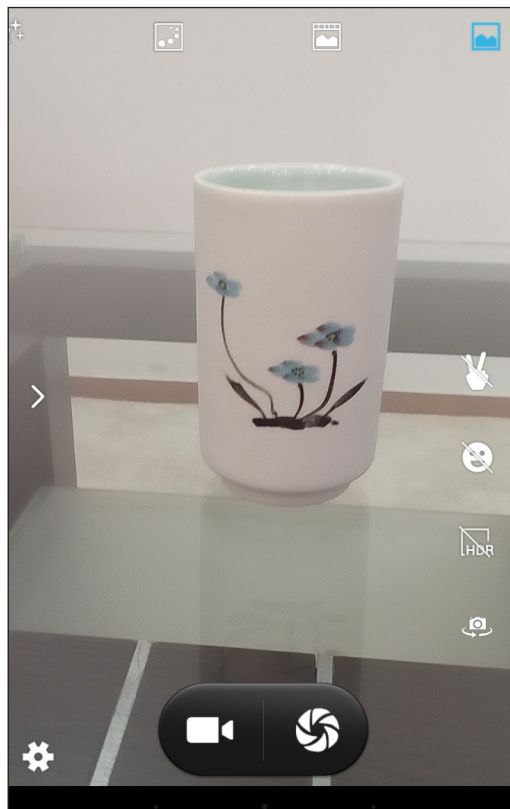


強制再起動

電源キーを 10 秒以上長押しすると、本機を強制的に再起動します。







カメラ








「カメラ」アプリを起動して、カメラを使用します。



写真とビデオの撮影

本機の内蔵カメラを使用して、写真の撮影とビデオの録画ができます。

- 写真を撮影するには、をタップします。
- ビデオを録画するには、をタップします。
- カメラと背面カメラを切り替えるには、をタップします。
- HDR モードをオンにするには、をタップします。
- 笑顔を検出したときに自動で写真を撮影するには、をタップします。
- ピースサインを検出したときに自動で写真を撮影するには、をタップします。

- 標準モードを使用するには、をタップします。
- ライブ写真モードを使用するには、をタップします。
- モーショントラックモードを使用するには、をタップします。
- 美顔モードを使用するには、をタップします。
- パノラマ撮影モードを使用するには、をタップします。
- マルチアングル表示モードを使用するには、をタップします。
- その他のカメラ設定を変更するには、をタップします。

スクリーンショットの取得

電源キーとボリュームキー（下）を同時に長押しすると、スクリーンショットを撮影します。

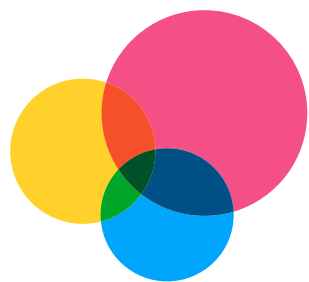
写真とビデオの表示

撮影した写真とビデオは、本機ของผู้ใช้メモリに保存されます。写真とビデオは、以下のいずれかの方法で表示できます。

- カメラアプリ使用中にサムネイルをタップします。
- 「ギャラリー」アプリを起動します。

取得したスクリーンショットは、本機ของผู้ใช้メモリに保存されます。スクリーンショットは、以下の方法で表示できます。

- 「ギャラリー」アプリを起動します。



Wi-Fi（無線 LAN）接続

Wi-Fi ネットワークを使用するためには、はじめに Wi-Fi ネットワークを設定する必要があります。

- Wi-Fi ネットワークの設定
- VPN ネットワークの設定

注意：接続するには有効なアクセスポイントが必要です。

Wi-Fi ネットワークの設定


「設定」>「Wi-Fi」をタップします。

「Wi-Fi」を ON にし、リストのアクセスポイントをタップすると、Wi-Fi ネットワークに接続できます。

セキュリティで保護されたアクセスポイントに接続する場合は、パスワードを入力する必要があります。

VPN の設定

組織内の VPN を使用すると、非プライベート・ネットワーク経由でも安全に個人情報を送信できます。例えば、仕事用の電子メールにアクセスするために、VPN の構成が必要になる場合があります。ご使用になっている VPN に接続するための設定については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。VPN の設定は以下の手順で行います。

1. 「設定」>「その他」>「VPN」の順に移動します。
 2.  をタップしてサーバーの名前、タイプ、サーバーアドレスなどの VPN プロファイルを入力し、「保存」をタップします。
 3. VPN サーバー名をタップして、ユーザー名とパスワードを入力してから「接続」をタップすると VPN ネットワークに接続します。
- 登録した VPN の設定を編集または削除するには、VPN サーバー名をロングタッチします。



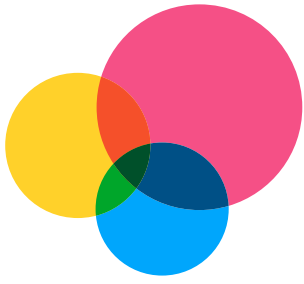
テザリングの設定

テザリングを使用すると、パソコンや他の製品とインターネット接続を共有することができます。

1. 「テザリング」アプリを起動し、利用規約に同意します。
2. 「Wi-Fi テザリングを設定」をタップし、ネットワーク SSID、セキュリティ、パスワードを設定します。
3. 「Wi-Fi テザリング」をタップし、チェックボックスにチェックを付けます。
4. 手順 2 で設定した内容をパソコンや他の製品で入力すると、本機とインターネット接続を共有できます。パソコンや他の製品の設定方法については、ご使用の製品の取扱説明書をご覧ください。

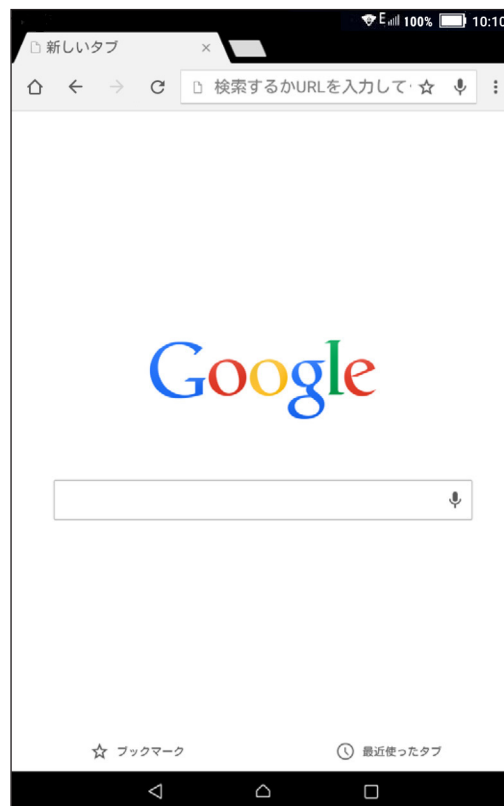
Bluetooth テザリングと USB テザリングも使用できます。

注意: 他のユーザーがモバイル・ネットワークを共有できるようにするには、ネットワーク SSID とパスワードを知らせる必要があります。



インターネット

インターネットにアクセスすることで、ブラウザからウェブページを閲覧できます。
ブラウザを使用するには、「Chrome」アプリを起動します。




ウェブページの閲覧

Chrome アプリを使用してウェブページを閲覧できます。

- ウェブアドレスの入力

ウェブページにアクセスする場合、ウェブページのアドレス「http://」をすべて入力する必要はありません。


例えば「http://www.yahoo.co.jp/」を閲覧する場合、アドレスバーに「www.yahoo.co.jp」と入力し、をタップします。

- ・ キーワードの検索

アドレスバーにキーワードを入力すると、ウェブページを検索できます。

検索エンジンの設定をするには、 > 「設定」 > 「検索エンジン」をタップします。

- ・ 新しいタブの追加


新しいウェブページのタブを追加するには、 > 「新しいタブ」をタップします。

PC 版のウェブページを閲覧するには、 > 「PC 版サイトを見る」をタップします。

- ・ ウェブページのタブを閉じる

ウェブページのタブを閉じるには、タブに表示されているをタップします。

- ・ ウェブページの更新

ウェブページを更新するには、をタップします。

前に表示したウェブページに戻るには、をタップします。

戻る前のウェブページに進むには、をタップします。


ウェブページや画像の保存


ウェブページやウェブページ上の画像は、本機ของผู้사용메모리에保存됩니다.

- ・ 画像の保存


画像をロングタッチし、「画像の保存」をタップします。

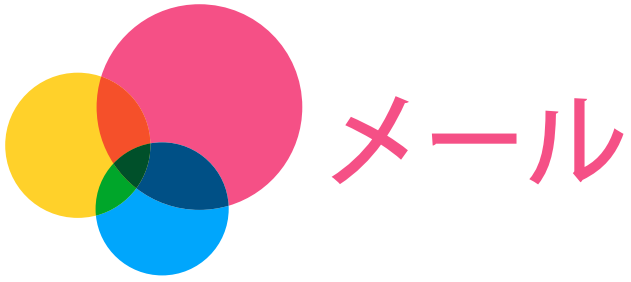
- ・ ウェブページのブックマーク

ウェブページをブックマークに追加するには、をタップし、「保存」をタップします。

ブックマークしたウェブサイトを表示するには、 > 「ブックマーク」をタップします。

ユーザー補助の設定

テキストの縮小／拡大およびウェブページのズームを設定するには、 > 「設定」 > 「ユーザー補助機能」をタップします。



本機がネットワークに接続している場合、「S! メール」(MMS) および「SMS」の送受信ができます。
詳細な機能については、ソフトバンクホームページをご覧ください。
メールを利用するには、「メール」アプリを起動します。

初回起動時の設定


「メール」アプリを初めて起動した場合、Wi-Fi 接続時にメールを送受信するための設定を行います。「今すぐ設定」をタップしてください。

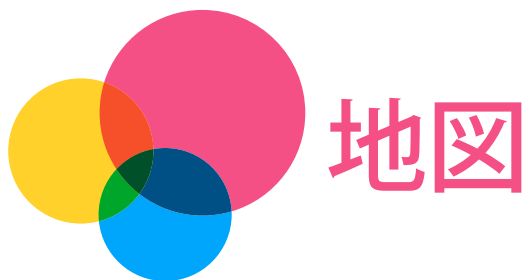
- 後から Wi-Fi 接続時の設定をする場合は、「後で設定」をタップします。

メール／SMS を送信する

スレッド一覧画面で「作成」をタップします。

宛先、件名、本文を入力して「送信」>「OK」をタップすると、メール／SMS を送信します。

-  をタップすると、電話帳、送信履歴、受信履歴、メールグループから宛先を入力できます。



本機の現在地を特定したり、目的地までの経路や場所を検索できます。

地図を使用するには、はじめに以下の設定をする必要があります。

「設定」>「位置情報」から位置情報を ON にし、Google アプリの位置情報アクセスを有効にします。

地図を使用するためには、「マップ」アプリを起動します。

場所の検索

検索バーをタップし、探す場所を入力 >  をタップします。



🗣️ をタップし、本機に向かって話しかけて音声入力することもできます。



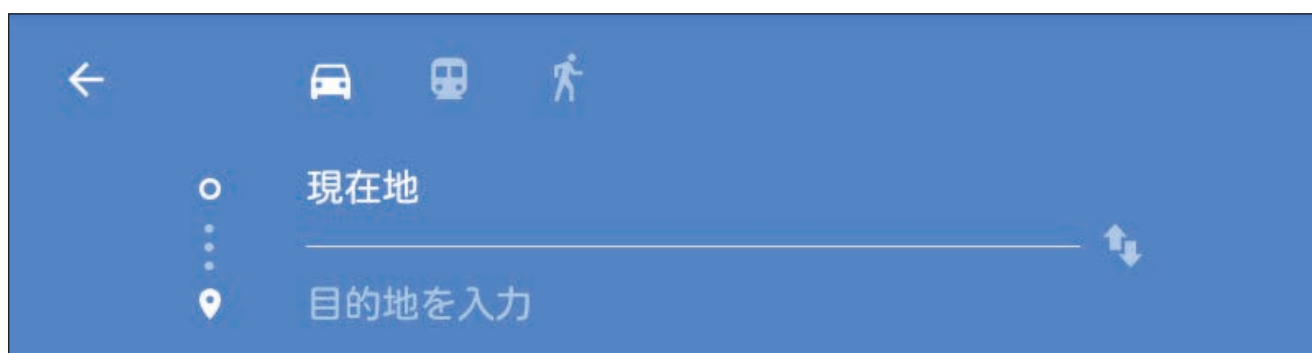
現在地

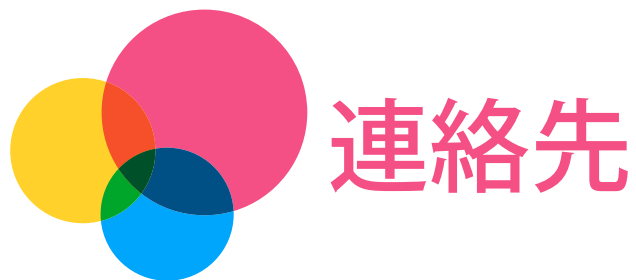
現在地を表示するには、📍 をタップします。

「現在地付近のスポット」をタップして、近くに何があるかを確認することもできます。

経路の検索

📍 をタップし、「出発地」と「目的地」の住所を入力します。「出発地」または「目的地」に現在地を指定する場合は、「現在地」を選択します。自動車、公共の交通機関（バス、電車等）、徒歩の中から移動手段を選択し、🔍 をタップします。





「連絡先」アプリを使用して、連絡先データの管理を行うことができます。
連絡先を管理するには、「連絡先」アプリを起動します。

連絡先の管理

連絡先アプリを使用して、連絡先の作成と連絡先のインポートやエクスポートができます。

連絡先の作成


 をタップして連絡先を追加します。

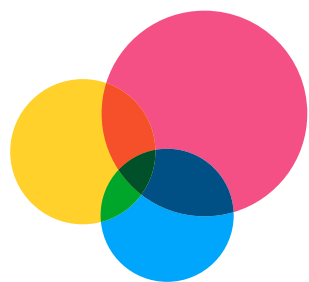
「名前」、「電話」、「住所」など、連絡先の情報を入力します。

完了したら、 をタップします。

注意：本機またはアカウントの連絡先を追加できます。

連絡先のインポートとエクスポート

1.  > 「インポート / エクスポート」をタップします。
2. コピー元を「タブレット」または「内部ストレージ」から選択し、「次へ」をタップします。
3. コピー先を選択し、「次へ」をタップします。
4. インポートする連絡先を選択し、「OK」をタップします。



パソコンとの接続

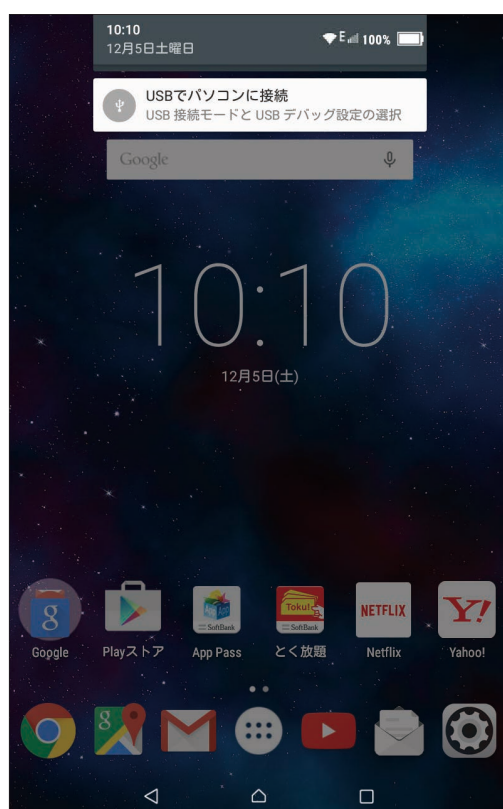
本機とパソコン間でデータを転送できます。音楽、写真、ビデオ、ドキュメント、Android アプリケーションパッケージ（APK）ファイルなどを転送します。

本機とパソコンの接続

本機とパソコンを micro USB ケーブルで接続します。

本機とパソコンを接続した状態で画面の上端から指をスライドさせると、通知パネルに「USB でパソコンに接続」と表示されます。

「USB でパソコンに接続」をタップすると、他のオプションが表示されます。



ファイルの転送

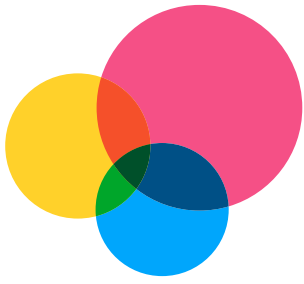
以下の手順でファイルを転送します。

1. 通知パネルを開き、「USB でパソコンに接続」をタップする。
2. 「メディアデバイス (MTP)」を選択する。
3. パソコンを操作してファイルを転送する。

APK のインストール

パソコンから転送したアプリをインストールするには、本機で設定を変更する必要があります。

1. 「設定」>「セキュリティ」から、「提供元不明のアプリ」をタップして ON にします。
2. 「メディアデバイス (MTP)」モードで、パソコンから本機に APK ファイルをコピーします。
3. 本機の「ファイルマネージャー」アプリを使用して、コピーした APK ファイルを選択し、インストールします。



付録

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内

ソフトバンク携帯電話から 157（無料）
一般電話から ☎ 0800-919-0157（無料）

紛失・故障受付

ソフトバンク携帯電話から 113（無料）
一般電話から ☎ 0800-919-0113（無料）

スマートフォン テクニカルサポートセンター

端末の操作案内はこちら

ソフトバンク携帯電話から 151（無料）
一般電話から ☎ 0800-1700-151（無料）

ソフトバンク国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡

+81-92-687-0025（有料、ソフトバンク携帯電話からは無料）

電子放射に関する注意事項

FCC 準拠に関する声明

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult an authorized dealer or service representative for help.

Lenovo is not responsible for any radio or television interference caused by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Responsible Party:

Lenovo (United States) Incorporated

1009 Think Place - Building One

Morrisville, NC 27560

Telephone:1-919-294-5900



カナダ産業省の勧告

この製品は、カナダ産業省のライセンス免除 RSS 基準に準拠しています。動作は、以下の 2 つの条件に従います：

- (1) この製品が干渉の原因にならないこと、および
- (2) この製品が望ましくない動作を引き起こしかねない干渉を含む他からの干渉を許容すること。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en

EU - EMC (Electromagnetic Compatibility) 指令への準拠

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. Lenovo cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a nonrecommended modification of the product, including the installation of option cards from other manufacturers.

This product has been tested and found to comply with the limits for Class B Information Technology Equipment according to European Standard EN 55022. The limits for Class B equipment were derived for typical residential environments to provide reasonable protection against interference with licensed communication devices.

EU contact: Lenovo, Einsteinova 21, 851 01 Bratislava, Slovakia

ドイツにおけるクラス B 準拠に関する声明

Deutschsprachiger EU Hinweis:

Hinweis für Geräte der Klasse B EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit
Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG (früher 89/336/EWG) zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse B ein. Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der Lenovo empfohlene Kabel angeschlossen werden. Lenovo übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der Lenovo verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der Lenovo gesteckt/eingebaut werden.

Deutschland:

Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln
Dieses Produkt entspricht dem „Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln“ EMVG (früher „Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten“) . Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG (früher 89/336/EWG) in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln, EMVG vom 20. Juli 2007 (früher Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten) , bzw. der EMV EG Richtlinie 2004/108/EC (früher 89/336/EWG) , für Geräte der Klasse B.

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen. Verantwortlich für die Konformitätserklärung nach Paragraf 5 des EMVG ist die Lenovo (Deutschland) GmbH, Gropiusplatz 10, D-70563 Stuttgart.

Informationen in Hinsicht EMVG Paragraf 4 Abs. (1) 4:

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse B.

韓国におけるクラス B 準拠に関する声明

B 급 기기 (가정용 방송통신기자재)

이 기기는 가정용 (B 급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며 모든 지역에서 사용할 수 있습니다 .

日本における VCCI クラス B に関する声明

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B

定格電流が単相 20 A 以下の主電源に接続する製品に関する日本の適合宣言。

日本の定格電流が 20 A/ 相以下の機器に対する高調波電流規制

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

環境、リサイクル、破棄に関する情報

リサイクルに関する全般的な声明

Lenovo は、情報技術 (IT) 機器の所有者に、機器が不要になったときに責任をもってリサイクルすることをおすすめしています。また、機器の所有者による IT 製品のリサイクルを支援するため、さまざまなプログラムとサービスを提供しています。Lenovo 製品のリサイクルについて詳しくは、<http://www.lenovo.com/recycling> にアクセスしてください。

WEEE に関する重要な情報



バツ印の付いたゴミ箱マークのある電気および電子機器の廃棄は、分類されない一般廃棄物として処分することはできません。電気および電子機器の廃棄 (WEEE) は、ユーザーが使用できる収集システムを使用して、個別に回収、リサイクルするか、WEEE に従って取り扱う必要があります。

各国固有の情報は、次の Web サイトで入手できます。

<http://www.lenovo.com/recycling>

ブラジルにおける電池のリサイクル情報

Declarações de Reciclagem no Brasil

Descarte de um Produto Lenovo Fora de Uso Equipamentos elétricos e eletrônicos não devem ser descartados em lixo comum, mas enviados à pontos de coleta, autorizados pelo fabricante do produto para que sejam encaminhados e processados por empresas especializadas no manuseio de resíduos industriais, devidamente certificadas pelos órgãos ambientais, de acordo com a legislação local. A Lenovo possui um canal específico para auxiliá-lo no descarte desses produtos. Caso você possua um produto Lenovo em situação de descarte, ligue para o nosso SAC ou encaminhe um e-mail para: reciclar@lenovo.com, informando o modelo, número de série e cidade, a fim de enviarmos as instruções para o correto descarte do seu produto Lenovo.

日本におけるリサイクル情報

日本でのリサイクルまたは廃棄についての詳細は、Web サイト <http://www.lenovo.com/recycling/japan> を参照してください。

インドにおけるリサイクル情報

インドでのリサイクルまたは廃棄についての詳細は、http://www.lenovo.com/social_responsibility/us/en/sustainability/ptb_india.html を参照してください。

電池のリサイクル・マーク

- 台湾における電池のリサイクル情報



廢電池請回收

- 米国およびカナダにおける電池のリサイクル情報



US & Canada Only

- EU における電池のリサイクル情報

EU



ENERGY STAR モデルについて



ENERGY STAR® は、米国環境保護庁および米国エネルギー省の合同プログラムであり、エネルギー効率の高い製品および実践を通じてコストを節約し、環境を保護することを目的としています。

Lenovo は ENERGY STAR の仕様に準拠した製品をお客様に提供しています。Lenovo TAB2 は、ENERGY STAR プログラム要件に従って設計およびテストされています。

ENERGY STAR 準拠の製品、およびコンピュータの省電力機能を利用することによって、消費電力の削減ができます。消費電力を減らすことで、経費抑制、環境浄化、温室効果ガス排出削減に貢献できます。

ENERGY STAR について詳しくは、<http://www.energystar.gov> を参照してください。

輸出種別に関する注意事項

本タブレット製品は米国輸出管理規制（EAR）の対象であり、大衆市場輸出種別管理番号（ECCN）は 5A992.c です。本タブレットは、EAR E1 国別リストの禁輸国を除く国に再輸出できます。

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 本機の故障、誤作動または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な連絡先などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（連絡先／音楽／静止画／動画など）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先（P. 16）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。
- アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先（P. 16）までご連絡ください。

海外でのご利用について

海外でのご利用の際、データ通信が行われないようにするには、データローミングを OFF にしたうえで下記のいずれかを設定してください。

- モバイルネットワーク接続を OFF にする。
- 優先ネットワークタイプを、「GSM」／「3G」／「3G/GSM」のいずれかに設定する。

トラブルシューティング

アプリのインストール中に、空き容量不足を示すメッセージが表示される

本機の空き容量を増やしてから、もう一度インストールしてください。

タッチ・スクリーンが反応しない

電源キーを 10 秒以上長押しして再起動してください。

起動できない、または操作を受け付けない

30 分間充電してから、電源キーを 10 秒以上長押しして再起動してください。

音が出ない、または聴こえない

ボリュームキーを使用して、音量を調節してください。

インターネットにアクセスできない

Wi-Fi 接続の場合：アクセスポイントを再起動するか、「設定」に移動して 無線 LAN を再起動してください。

モバイルネットワーク接続の場合：「設定」>「その他」>「モバイルネットワーク」に移動し、モバイルネットワーク接続が有効か確認してください。

本機のスリープ状態を解除できない

電源キーを 10 秒以上長押しして再起動してください。

2015 年 10 月第 1 版発行

ソフトバンク株式会社

※ご不明な点はお求めになったソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：Lenovo TAB2

製造元：Lenovo PC HK Limited